

ご挨拶 ―スヌーズレンの専門資格を取得する時代に向けて

本研究所は、今年で5年目を迎えました。これまで多くの皆様方からご理解と多大なるご協力をいただきまして、心よりお礼を申し上げます。

本研究所では、当初より、スヌーズレンの実践の質を高めるために必要な、実践者の「スヌーズレンの専門資格の取得」を目的の一つに掲げてきました。そして将来のスヌーズレンの資格セミナーの開設に向けて、一昨年からは、このセミナーで使用する基本テキストの作成に取り掛かり、各著者の方に分担執筆をお願いし、ようやく今年の4月に出版する運びになりました。これは、日本のスヌーズレンにおける新しい時代の幕開けといえます。

このテキスト『スヌーズレンの理論と実践方法―スヌーズレン実践入門』（大学教育出版）は、A5版で210頁ほどの書籍で、口絵に主に海外のスヌーズレン施設のルームや器材等のカラー写真を6頁にわたって掲載しております。このテキストの執筆には、本研究所のサポート研究員の皆様を中心に、二十数名の研究者・実践者の方にご協力をいただきました。この場をお借りして、これらの皆様に心より厚くお礼を申し上げます。皆様のご協力がなければ、このテキストは出版に至らなかったと思います。今後は、さらに資格制度を創る予定であります。

この書籍は、学術書ですが、主にスヌーズレンのユーザーの方を対象にしたもので、特に初心者の方でも、スヌーズレンのことが基本から学べるように、できるだけ平易な表現を用いて、理論をわかりやすく解説し、学校や福祉施設、病院などにおける多くの実践事例を収録し、明日から職場での実践にすぐに活用できるように編集してあります。ぜひ本書を手引書として、日々のスヌーズレンの実践を進められることをお勧めいたします。

話は変わりますが、現在、本研究所の諸活動を積極的に担って下さる方を募集しております。発送等の事務仕事や、研修会の運営、機関誌の編集などがございまして、ぜひ本研究所の活動をご支援下さい。サポート研究員の皆様のご協力を心よりお待ちしております。ご希望の方は、事務局までお知らせ下さい。随時受け付けております。

最後になりますが、本年度の活動計画として、スヌーズレン研修会(5月東洋大学)や学会でのスヌーズレンシンポジウム(9月広島大学、11月横浜パシフィコ)、スヌーズレン教育研究会(来年1月常葉大学)、機関誌の原稿募集(8月)と発行(来年3月)を予定しております。ぜひご参加下さい。

今後とも、皆様方の温かいご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2019年4月1日

ISNA 日本スヌーズレン総合研究所所長 姉崎 弘
常葉大学教育学部教授
国際スヌーズレン専門支援士
元 ISNA-MSE International Board